



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカホールディングス

2012年 8月期

BUSINESS REPORT

2011.9.1 — 2012.8.31

JASDAQ 証券コード2157

アクティブシニア層の健康ニーズにフィットした 付加価値の高いサービスにより 上場以来、増収増益*を継続しています。

——— 代表取締役社長 腰高 博

* 経常利益

株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

Q1 当期の業績について 総括をお願いします。

国内の景気は緩やかな拡大基調にありますが、欧州の債務危機や長期化する円高、消費税増税への懸念などから今後の見通しは依然として不透明な状況となっております。

当社の2012年8月期の業績につきましては、事業の主軸であるカラオケ事業とカーブス事業が好調に推移したことから、上場以来、増収増益*を継続することができました。この業績を背景に、下期においては温浴施設およびワンカラの新店を推進し、さらなる成長に向けて積極的な設備投資を行いました。

その結果、当社グループの2012年通期の売上高は337億46百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益40億77百万円(同20.6%増)、経常利益40億96百万円(同22.8%増)となりました。



Q2 急成長を続けるカーブス事業 の今後の戦略について お話しください。

当期におけるカーブスは159店増加し、総店舗数は1,197店、総会員数は50万人を超えています。

カーブスがこれほど急激に成長した理由は、アクティブシニアの女性を中心とした30分健康体操教室という独自のコンセプトにあります。カーブスで行う運動メニューは、ダイエットを目的とした有酸素運動ではなく、筋肉のトレーニングがメインです。当



Koshidaka
HOLDINGS

社が続けてきた啓蒙活動によって「健康への第一歩は、まず筋肉をつけること」という認識が広まり、定着したことが会員数の増加に繋がっています。カーブスのメインターゲットである50～60代の女性にとっては、ダイエットよりも健康な生活を送るための体作りが重要なのです。さらに、同年代の女性が毎日のように通うため仲間同士が集うコミュニティが生まれ、ソーシャライゼーションが進みます。カーブスの退会率が比較的低いのは、そうした会員同士の繋がりが強いことあると思います。

また、カーブス事業の売上には、会員様への物販が大きく貢献しています。カーブス事業全体の売上約100億円のうち約30億円が物販によるものです。大ヒット商品となったプロテインのほか、オリジナルデザインのTシャツやシューズも好評で、多くの会員様がシーズンごとに新作を待ちこがれています。現在、プロテインに続く商品開発を進めており、50万人の会員様に向けた物販売上は、来期も引き続き順調に伸びると予想しています。

カーブス事業については、3次元で立体的にとらえています。縦は新規出店、横は既存店の増益、そして高さが物販です。このバランスに留意しながら、厚みのある事業展開を図っていきます。

Q3 日本初の一人カラオケ専門店「ワンカラ」の展開についてお聞かせください。

2011年11月に東京・神田に1号店をオープンした新業態の一人カラオケ専門店の「ワンカラ」は、その後都内に4店舗（高田馬場、池袋、新宿、渋谷）と宮城県仙台市に出店し、6店舗に増えました。新しいカラオケの楽しみ方として、さまざまなメディアで取り上げられたことから、認知度も高まっています。

現在、東京と仙台の6店舗で営業しながら、オペレーションや施設、設備などのブラッシュアップを図っています。今後は、初期投資を抑えて早期に収益化するためのビジネスモデルを確立させ、モデルとなるニュータイプの開発を終了後に、フランチャイズを含めた多店舗展開を進めたいと考えています。

Q4 カラオケ事業の海外展開についてお話しください。

4月に韓国のソウルに2号店を出店し、本格的な海外展開への準備を進めています。次に目指すのはシンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシア、タイなど東アジアの新興国です。まず、それらの国に駐在員を派遣してカラオケ市場を調査し、どのような形で進出するかを検討する予定です。

カラオケ事業の海外戦略につきましては、各国の市場に合わせて、柔軟に展開していきます。



Q5 アクティブシニアをターゲットにした今後の事業戦略についてお聞かせください。

「カラオケ本舗まねきねこ」のお客様のうち、50代以上の方の占める比率はまだ少ないため、開拓の余地が大きいといえるでしょう。カラオケ事業では、今期、全店で開店時間を12時から9時に繰り上げて、アクティブシニア層のニーズの掘り起こしを行っています。

また、東北大学と学術指導契約を締結し「健康歌体操教室」を考案し、東京健康ランド等で実験的に開催しております。将来的には全国の「まねきねこ」のパーティールームで大勢のお客様が参加できるようなコンテンツに作り上げ、「健康歌体操教室」を広く普及させたいと考えています。

こうしたアクティブシニアのお客様のニーズに応えて、サービスを拡充することが今後の事業戦略のポイントになると考えています。

Q6 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社が上場以来、増収増益*を継続できたことは、ひとえに株主の皆様のご支援の賜物に他なりません。そのご期待にお応えし、感謝の気持ちをお伝えするために、当期末の配当につきましては1株当たり17円50銭とさせていただきます。中間配当の17円50銭と合わせて年間配当額は35円となりました。

来期の配当につきましては、1株当たり中間配当20.0円、期末配当20.0円の合わせて、年間配当40.0円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、ぜひ一度当社の店舗へいらしていただけますようお願い申し上げます。一人のお客様としてサービスを体験し、楽しんでいただくことで、当社への理解を深め、ビジョンを共有することができれば、これに勝る喜びはありません。

どうぞ末長いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

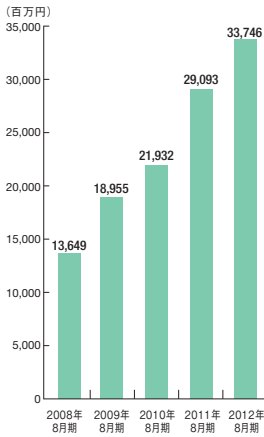
財務ハイライト (2011年9月1日~2012年8月31日)

当期連結決算のポイント

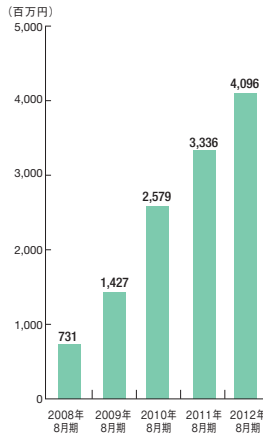
**売上高、営業利益、経常利益において
過去最高の業績を達成しました。**

売上高は337億46百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益40億77百万円(前年同期比20.6%増)、経常利益40億96百万円(前年同期比22.8%増)となりましたが、当期純利益は22億79百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

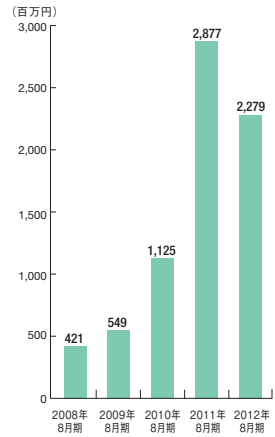
売上高



経常利益

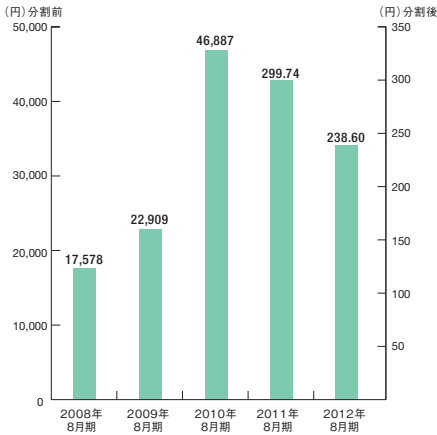


当期純利益

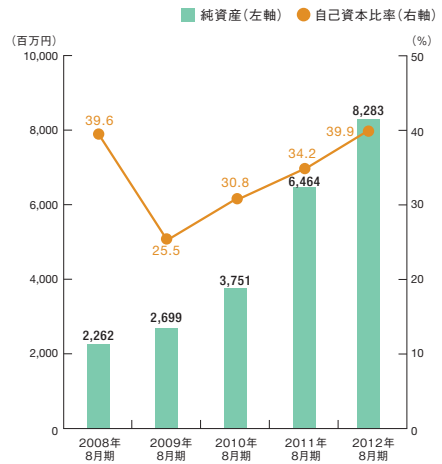


※2008年8月期までは単体の数値です。

1株当たり当期純利益



純資産 / 自己資本比率



(注) 2011年9月1日をもって、1株につき400株の割合で株式分割を実施しております。

ポイントの解説

1 売上高について

「安近短」の流れが当期も継続し、カラオケ事業では既存店客数が前年対比103.0%と引き続き好調でした。また、新業態の「ワンカラ」や温浴事業の本格展開も増収に寄与しました。カーブス事業は、店舗および会員数増加が増収要因でした。

2 利益について

経常利益では、上場以来、増益を更新することができました。カラオケ事業は、大規模リニューアル(41店舗)が功を奏し既存店売上高が約7億円増加したことが要因です。カーブス事業は、物販が業績向上に大きく貢献いたしました。



カーブス事業



ボウリング・不動産管理・その他事業



■ 事業セグメントの状況

Segment Information

カラオケ事業

当連結会計年度末

売上高185億43百万円

日本初の一人カラオケ専門店「ワンカラ」の多店舗展開と既存店のリニューアルを進め、カラオケセグメントの売上高は185億43百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は26億92百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

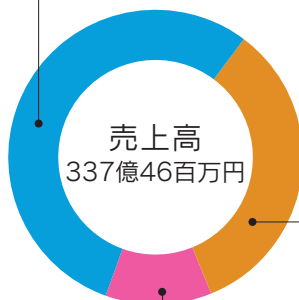
ボウリング・不動産管理・その他事業

当連結会計年度末

売上高38億82百万円

既存の温浴施設の再生による多店舗展開を推進し、売上高は38億82百万円(前年同期比18.6%増)、セグメント損失は77百万円となりました。

売上高
337億46百万円



事業セグメント別売上高構成比

カラオケ事業	54.9%
カーブス事業	33.5%
ボウリング・不動産管理・その他事業	11.6%

カーブス事業

当連結会計年度末

売上高113億20百万円

店舗数と会員数の増加に加えて、会員への物販も好調に推移したことから、売上高は113億20百万円(前年同期比34.3%増)、セグメント利益は19億6百万円(前年同期比57.6%増)となりました。

■ 営業の概況

Operating Results

新業態の開発と既存業態の進化により、新たな市場を開拓しています。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかながらも拡大基調にあった足許の景気が一服し、回復しつつあ

た消費マインドも、今後の家計負担の増加に繋がる様々な懸念が足枷となる可能性があります。当社はそうした状況のなかで、新業態の開発と既存業態の進化によりアクティブシニア層を中心とした新たな顧客の開拓に努め、増収増益を達成しました。

■ 次期の見通し

Outlook

健康志向の高まりを背景にアクティブシニア層の潜在需要を喚起します。

消費者の生活防衛意識が高まり、個人消費の伸びは期待しづらい状況が続くと予想されるなかで、健康志向の高まりと、増加するアクティブシニア層の潜在需要の掘り起こしにより、さらなる成長を目指します。

● 2013年8月期の業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年8月期	35,954	4,950	4,985	2,623
2012年8月期(実績)	33,746	4,077	4,096	2,279
増減率(%)	6.5	21.4	21.7	15.1

VOICE 現場社員の声



チャレンジ精神を持ち続けることで新しい自分を再発見できます。

温浴事業本部 温浴塾
講師 小西大介 2007年1月入社

「当社は接客サービス業であり、可能性は無限大である」という社長の言葉があります。今現在、私自身がそれを身に染みて感じています。その理由は、カラオケという業態の経営について知りたいと思い入社したこの会社で、当初の目的を大きく超える貴重な経験を積んでいるからです。現場での経験を経た後、本社で勤務する機会をいただきました。現在は多店舗展開を進めている「温浴事業の社員教育」というとても重要な仕事を任されています。それら一つひとつの経験が私自身の財産となり、やりがいと共に自らの成長を実感しています。

経営方針に対する有言実行力、また、自らの枠を超えた多くのチャンスがあるところが当社の大きな魅力だと思います。チャレンジ精神を持ち続けることで、枠にとらわれない新しい自分を再発見することができるからです。

TOPICS —コシダカホールディングスの今をお伝えします。—

食料を寄付して地域社会に貢献する カープスフードドライブ2012



フードドライブとは、家庭にある食料（缶詰やレトルト食品などの保存食品）を集めて、児童養護施設や教会など食料を必要とする施設に寄付をするボランティア活動です。カープスでは地域社会への貢献をチェーン全体で取り組む重要なテーマとしてとらえ、2007年から実施しています。

カープスフードドライブ2012は1月16日から1カ月間、全国のカープス店舗1,067店*で実施し、参加された約7万8千人の会員様が持ち寄った食料は約96トンに達しました。

集まった食料は全国約440の施設・団体に届けられ、多くの人々から感謝の声をいただきました。今後もこうした活動を通じて、明るい豊かな社会の実現に努力していきます。

*2011年10月までにオープンしたカープスの店舗数

ユニークなイベント風呂や 月替わりの人工温泉が人気の温浴施設

全国6カ所に展開しているコシダカの温浴施設では、お客様に喜んでいただくため、さまざまなイベントやサービスを実施しています。

今年6月にオープンした「東京健康ランドまねきの湯」では、「米ぬかオリーブ湯」や「ヒアルロン酸風呂」など、週替わりイベント風呂が大好評。エステやマッサージなどのリラクゼーションも充実しています。

6月末にオープンした福島県の「郡山湯処まねきの湯」でも「本物お茶風呂」や「コエンザイムQ10バス」のほか、美容と健康をサポートする週替わりイベント風呂が人気を集めています。

あかすりやカットサロンでのお顔そりなど、

美肌やボディケアに欠かせないサービスメニューも豊富です。

さらに、この両施設には全国各地の温泉と同じ泉質のお湯を楽しめる人工温泉が設置され、名湯と同じ成分のお湯でくつろぐことができます。別府温泉の湯の花を配合した明礬（みょうばん）の湯など、多彩な湯質を月替わりで堪能できます。

今後も、家族そろって1年中楽しめる温浴施設として、さまざまなイベントやサービスを企画していきます。



本格的な海外進出への足掛かりとなる 海外カラオケ店の第2号店を韓国にオープン



2012年4月、海外カラオケ店の第2号店としてソウル北部に「ノレヨンスプジャン（歌練習場）まねきねこ 鐘路（チョンノ）店」をオープンしました。2011年6月にオープンした「カラオケ本舗まねきねこ 江南（カンナム）店」に続く韓国2号店です。韓国で海外事業のノウハウを蓄積しながら、東アジア地域への出店戦略を積極的に進めます。

株主優待制度を変更しました。詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/stockholder.html>

■ インフォメーション

会社の概要 (2012年8月31日現在)

会社名	株式会社コシダカホールディングス
英訳名	KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
設立年月日	1967年3月31日
本社	群馬県前橋市大友町一丁目5-1
東京オフィス	東京都千代田区丸の内一丁目6-5 丸の内北口ビルディング 27 階
資本金	4 億 9,360 万円
事業内容	カラオケ事業 (店舗数：323 店舗) カープ事業 (加盟店舗数：1,197 店舗) 温浴事業 (店舗数：6 店舗)
従業員数	グループ従業員 2,924 名 (正社員 908 名、パート・アルバイト 2,016 名) パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2012年8月31日現在)

代表取締役社長	腰高 博	常勤監査役	茂木 功
専務取締役	腰高 修	常勤監査役	赤岩 好夫
取締役	朝倉 一博	監査役	寺石 雅英
取締役	腰高 美和子		
取締役	土井 義人		

大株主 (上位4名)

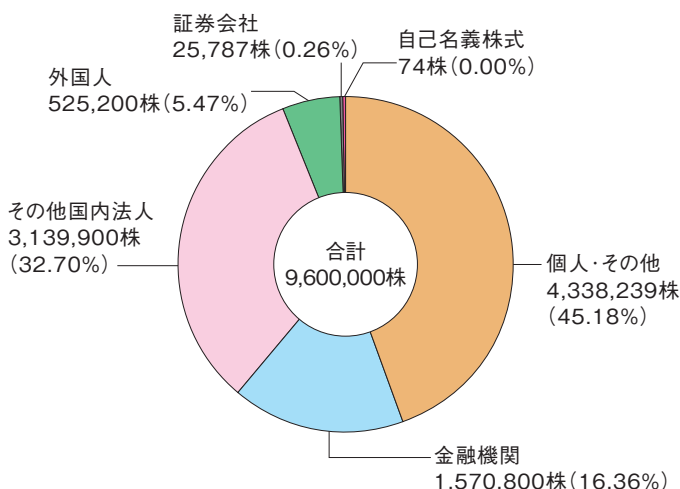
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	3,116,000	32.46
腰高 博	1,568,000	16.33
腰高 修	1,460,000	15.21
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	525,000	5.47

株式の状況 (2012年8月31日現在)

発行可能株式総数	38,400,000株
発行済株式の総数	9,600,000株
株主数	2,010名

*平成23年9月1日付をもって当社普通株式を
1株につき400株の割合をもって分割いたしました。

所有者別株式分布状況 (2012年8月31日現在)



株主メモ (2012年8月31日現在)

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月下旬
基準日	毎年8月31日
定時株主総会・期末配当	毎年8月31日
中間配当	毎年2月末日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
住所変更のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました 株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託 銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申 出ください。
「配当金計算書」について	配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特 別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。 確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくこと ができます。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様 につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行 われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取 引の証券会社にご確認をお願いします。 ※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>



株式会社コシダカホールディングス

〒371-0847

群馬県前橋市大友町一丁目5-1

電話 027-280-3371(代) Fax 027-280-3382